

事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

事務事業名	平成・南部藩事業			事業コード	43
所属コード	123000	課等名	企画調整課	係名	政策調整係
課長名	古舘 和好	担当者名	千代谷 晶子	内線番号	3814
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	心がつながる相互理解	コード	3
	施策	多様な国際交流・地域間交流の推進	コード	3
	基本事業	地域間連携の推進	コード	2
予算費目名	一般会計 2 款 1 項 6 目 南部首長会議事務 (001-03)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰越 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	昭和 59 年度	
根拠法令等	なし			

(2) 事務事業の概要

南部氏にゆかりのある 9 市町が、地域づくり成果報告会のほか各種事業を開催し、文化・経済の交流を通じて相互理解を図る。

(3) この事務事業を開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

昭和 59 年に相互の地域振興を図るべく遠野市長から提案があり、南部氏にゆかりのある 7 市町を構成として第 1 回南部サミットを八戸市において開催したことに始まる。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

平成 18 年度に事業の見直しを行い、平成 19 年度から新規事業等を実施しているところであり、その結果を勘案して今後に反映させることとしている。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象 (誰が, 何が対象か)

南部氏にゆかりのある市町 (青森県八戸市, 三戸町, 七戸町, 南部町, 岩手県盛岡市, 遠野市, 二戸市, 山梨県南部町, 身延町)

(2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 見込み
A 南部氏にゆかりのある市町数	団体	9	9	9	9	9
B						
C						

(3) 23年度に実施した主な活動・手順

- ア 地域づくり成果報告会開催 (盛岡市にて実施: 構成9市町の首長による地域づくり (食文化) に係る事例, 取組等の報告会開催)
- イ 参勤交代の実施 (盛岡市にて実施: 遠野市の市民70名が盛岡さんさ踊りパレードに参加)

(4) 活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 市が関わるイベント等の事業数	件	3	4	2	2	2
B						
C						

(5) 意図 (対象をどのように変えるのか)

文化交流等を通じ, 相互の地域の特性をいかした連携・交流を図り, 地域振興に寄与する。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績	26年度目標値
A 市が関わった会議の時間数	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input checked="" type="checkbox"/> 維持	時間	2	2	2	3	3
B 市が関わったサブイベント等の時間数	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input checked="" type="checkbox"/> 維持	時間	14	20	15	10	10
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	22	108	215	132
	⑤その他()	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	22	108	215	132
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	90	120	90	190
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	360	480	360	760
計	トータルコスト A+B	千円	382	588	575	892
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

結びついている。

構成団体間において相互の特性をいかした連携・交流事業を通じて地域振興を図っていることから、結果に結びつく。

② 市の関与の妥当性

妥当である。

住民を含む自治体間の連携交流により地域振興に寄与する。

③ 対象の妥当性

現状で妥当である。

「南部氏にゆかりのあるまち」というテーマであることから、妥当である。

④ 廃止・休止の影響

影響がある。

20年以上にわたって交流が行われており、また、東日本大震災時には当事業の構成市町同士相互支援が行われ、自治体間連携にも寄与しており、廃止等により連携が減退することは否めない。

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

向上余地がある。

3年に一度担当課長が出席する企画会議を開催し、事業見直しを行っており、随時事業の見直しを図る必要がある。

(3) 公平性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

公平・公正である。

自治体間で応分の負担があることから、受益機会の公平性がある。

(4) 効率性評価

事業費はほとんどが事務費用であり、削減する余地はないが、人件費については、構成市町による現事業体制の検証が必要と思われる。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

現事業体制について、構成市町において定期的に検証を行う必要性があり、その結果、事業費、人件費の削減が可能か判断する。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

「南部氏ゆかり」に係る連携・交流についての理解は共有されており、また東日本大震災による自治体間の相互援助等により、構成市町間で連携はより強まったと思われる。改めて、事業の将来の方向性について、構成市町間において一致させるため、定期的な意見等の共有の場（会議）の開催や事務局への意見集約・発信を密に行うことにより、事業改善が図られると考える。

5 課長意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

平成 23 年度は盛岡市に構成 9 市町長によるまちづくり成果報告会を実施するとともに、遠野市から「遠野町早瀬まつり同好会」を招いて参勤交代事業を実施した。

平成 24 年度は構成市町村担当課による企画会議（3 年に 1 度）が実施されることから、これまでの事業の評価を行い、今後の交流事業の内容について検討を加える。